

公益社団法人日本技術士会鹿児島県支部

第36回 CPD 講演会（九州本部 CPD・建設系 CPD 登録済）

(1) 13:30~15:00 (B-2)

九州本部 2207302802B2

『低炭素社会における次世代自動車』

仮屋 孝二 氏（第一工科大学工学部教授・博士（工学））

(2) 15:15~16:45 (A-1-1)

九州本部 2207302801A-1-1

『海の波と海岸・港湾工学』

村上 啓介 氏（宮崎大学工学部教授・博士（工学））

日時：2023年2月11日（土） 13:30~16:45（途中休憩15分）

会場：かごしま県民交流センター大研修室2（3F）

会費：日本技術士会会員 1,000円

非会員 1,500円

大学生・高専課程生 無料

CPD単位：3単位

定員：60名（先着順）

: 10名（オンライン：鹿児島市以外の在住会員に限定）

*オンラインは、zoomを使用します。

（重要）COVID-19の感染状況によっては、中止する場合があります。

【参加者条件】

①事前予約者のみ参加できます。

②講演中は必ずマスクを着用してください。

申し込み締め切り 2月3日（金）12時

*申込定員に達した時点で募集を締め切ります。

*参加確定者には、2月4日（土）に参加案内及び注意事項及び
オンライン参加者には、接続コードをメール配信

*オンライン参加者は、次回（第37回）以降有料となります。

【第36回 CPD 講演会等申込み先】

鹿児島県支部 HP 又は下記 Google フォームから申し込んでください。

<https://forms.gle/vSrFGwSThEbU4EPc6>

講演概要

■講演（1）

講演タイトル：「低炭素社会における次世代自動車」

講師： 仮屋 孝二（第一工科大学工学部教授・博士（工学））

講演概要：

化石燃料を主体とした現代の機械技術の見直しは、世界的な緊急課題となっている。地球温暖化の原因と現状及び省エネルギー、脱エネルギー技術の動向を紹介し、その中で用いられる自動車技術に注目する。

現在、産業界は低炭素化が求められており、エネルギー消費が大きく、石油に全面的に依存する自動車の影響は大きい。省エネルギーの促進・石油代替・環境負荷低減などの目的から、次世代自動車の普及や自動車における新技術の開発が期待されている。そのような中、自動車は「走る機械」から、安全・環境・快適をカバーする「電子・情報機器」へと変貌をとげつつある。本講演では、環境エネルギー問題にかかわる自動車の影響や自動車の温暖化対策、さらに燃費改善技術の変遷と特徴等について紹介する。

キーワード

低炭素社会、燃費改善技術、次世代自動車

■講演（2）

講演タイトル：「海の波と海岸・港湾工学」

講師： 村上 啓介（宮崎大学工学部教授・博士（工学））

講演概要：

土木工学分野の中で、海岸工学や港湾工学に関わる技術者は必ずしも多くはない。そのため設計外力となる波浪の取り扱いについては、流体力学的な取り扱いが河川流等とは大きく異なることから、理解が難しい面がある。他方、四方を海に囲まれた我が国においては、港湾や海岸との結びつきには深いものがある。今後、気候変動による沿岸問題が顕在化することが危惧されていることから、技術者が波浪の理解を深めることは重要と考える。このような背景から、本講演では、海岸工学や港湾工学の話題を交えながら、どのような経過を経て現在の波浪現象の理解に至っているのかについて述べる。

キーワード

風波、海岸工学、港湾工学